

## 回 覧

しばたまち交流ひろば

## ゆる. ぷら倶楽部



2014.5.1 ニュースレター第 46 号

# ギャラリー展示作品募集中!

ゆる.ぷらのギャラリーを活用して  
皆さんの活動をPRしてみませんか?

●募集日程:2014年8月以降

●展示期間:約2週間

●募集対象:個人・団体の趣味・手作りの作品や活動報告など

**※販売目的、商品宣伝などにはご利用いただけません。**

●展示スペース:パネル9枚分まで(サイズ 180×120cm)

テーブル5台まで(サイズ 180×45cm)

日程や期間、内容など  
お気軽にご相談ください!  
随時受け付けています。



※展示スペースのイメージ



過去の展示例:  
写真、絵画、組み木、人形、  
ステンドグラス、押し花、ちぎり絵、  
シャドボックス、刺しゅう、トルパ  
イト、貼り絵、書写、書道、切  
り絵、盆栽、活動報告、中学  
校美術部、川柳、篆刻、ミニ  
チュア粘土、石ころアートなど



お待ちしております  
♪

# 4月のギャラリー展示の様子

## ◎【高野豆腐の彫刻展】(4月1日～4月13日)



高さ約50cm! 大きい!



見事な彫刻が施された黄金の龍。

星野秀信さんより

高野豆腐という素材に命を吹き込み、お蔵入りの作品を多くの方々に見てもらえただけで幸せです。

素晴らしい作品を作られる方はたくさんいらっしゃいます。

物に限らず、人生なにかに夢中になるといことは、とても大事だと思います。

## ◎【和紙ちぎり絵作品展】(4月1日～4月13日)



自身で染めた和紙で、花や景色・動物など美しい作品の数々を制作。



## ◎【押し花サロンあさがお作品展】(4月15日～4月27日)



風景額絵の他、スタンドグラス風やレカンフラワーの素敵な作品ばかり。



押し花サロンあさがお

大沼さんより

自然が織り成す全ての情景との出逢いや感動から作品が生まれています。

作品を通して、その出逢いや感動を皆様にお伝えできれば幸いです。

## ナイス Smile(笑顔)賞



各分野で一生懸命活動されている方、頑張っている方などにお話を聞き、その笑顔を広めていくナイス Smile(笑顔)賞。今回は「船岡を明るくする会」で地域の防犯活動に取り組む加茂紀代子さんを紹介します。

### 加茂紀代子さん(4区)



#### ——活動のきっかけは？

もう10年前になりますが、知人に「船岡駅が怖い、治安が悪い」と言われて驚いたんですよ。あらためて駅を見ると、ゴミ・吸いがらが散見し、若者の溜まり場と化して、バイク・自転車の二人乗りが目立つ状況に気がついたんですね。柴田町は、明るい観光の町のはずでしょう？柴田町の課題を知ったわけです。

#### ——なるほど。とはいえ、一体何から始めたら良いのやら難しいですね。

私もそうでしたよ。まずは小さなことから始めました。街頭のゴミ拾いと挨拶運動をする「船岡を明るくする会」の活動です。

#### ——取材時も、丁寧なゴミ拾いが印象に残りました。

単にパトロールに併せて、というもありますが、これは割れ窓理論という考え方に基づいています。荒れた状況を放っておくと、その場所は荒らしても問題ない場所かのように見えてしまう。整然とした状態を保てずに、割れた窓ガラスを放っておいてしまうと、治安悪化に繋がるとの考えですね。当時の駅前に散らばっていたゴミや吸い殻と、それを無視して歩く皆の様子は、まさにその割れ窓に思えたんですよ。

#### ——活動は順調にスタートした？

いえ、最初は私たちもゴミを拾うばかりで、なかなか若者への声掛けには抵抗がありましたね。話しかける難しさを少しずつ克服しつつ、活動の中でより良い方法を模索してきました。例えば公園で少年達がたむろしているとの話題がスタート地点になって、公園の生け垣や伸びすぎた樹木の伐採・街灯の設置を町に要望し、外からよく見える公園にして溜まり場化を防ぐといった繋げ方をしています。この頃は先に挨拶してくれる若者も増え、かえって元気を貰っています。

#### ——今後の活動は？

町内の小中高校や大学と協力し、10年間休まずに活動を続けて、「船岡駅の溜まり場化防止」との当初の目的はある程度果たせたと思います。しかしふと省みてしまうのは、私達が十分に若者達の心を理解していたか、その上で溜まり場化防止をしたのかということ。少年鑑別所や刑務所等への訪問・見学活動を取り入れるなど、団体として成長するための模索を続けています。



「船岡を明るくする会」活動の様子

## 【地域の悩みを解決していくために～地域支援体制の充実に向けた検討会～】

地域では、従来からの活動に加え、新たに地域計画に基づく活動が盛んに行われてきていますが、同時に様々な悩みを抱えています。「地域づくり支援員」が昨年度から地域支援に当たっていますが、地域によって相談内容や課題は多岐にわたり、どうすれば効果的に支援を行えるのか模索しながら活動しています。

そんな中、昨年の12月から宮城県の地域づくり課題研究支援事業を活用し、宮城大学地域連携センターの古川隆調査研究部長をアドバイザーに迎え「地域支援体制の充実に向けた検討会」を4回にわたって推進センターで開催しました。検討会は、古川アドバイザーの他、各小学校区から行政区長に1名ずつ参加していただき、また、地域づくり支援員、県、町の職員を加え総勢12名で構成しました。検討会では、現在抱えている地域課題や、今後取り組みたいことなどについて意見交換し、アドバイザーから事例紹介や助言をもらいながら、今後の地域づくりへ参考にしていくため議論を進めました。



開催日時	概要
12月25日(水)	・現在抱える悩みや、それぞれの地域の状況について意見交換。
1月29日(水)	・地域課題「人材育成」「地域間連携」をテーマに意見交換
2月19日(水)	・「人材育成」「地域間連携」について解決策などを検討
3月26日(水)	・「情報の流れ」「支援員のサポートのあり方」について検討



意見を表に整理しながら議論を進めます

今回の検討では、特に地域の人材育成と地域間の連携について重点的に検討しました。人材育成について検討メンバーからは「実践活動の中からこそ人が育つ」「キーになる人を見つけていくことが大切」など日頃の経験から貴重な意見が出され、地域間の連携については「通学路の問題や避難所の運営など行政区を超える問題には効果がある」「学区でのイベントは盛り上がる」という意見が出された一方、「現在、地域間の連携が無い地域では他の地域の情報が無いの

で難しい」という意見が出されました。人材育成、地域間の連携のいずれも、情報の流れが重要であるというアドバイザーの意見があり、情報共有を地域と行政、支援員の間でどのように進めるか、また、情報を共有できる場づくりを行っていく必要性などを確認しました。町では、今回の検討を生かし今後の地域支援を更に充実させていきます！

いよいよGWですね。連休中に遠出される方も多い事でしょう。新緑が美しく吹いてくる風がとても気持ち良く、お出掛けにはぴったりの季節です。

ゆる.ぶらは連休中も開館しておりますので、お買い物の際など、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

ゆる.ぶらスタッフより

### (お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぶら  
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00～18:00

<5月の休館日:7日、12日、19日、26日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

